

令和 3 年 度 迫 子 地 区 公 民 館 空 調 機 修 繕 工 事

図 面 リ ス ト		
図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
	図面表紙	
M-01	特記仕様書（1） 概略工事工程表	N/S
M-02	特記仕様書（2）	N/S
M-03	配置図 付近見取図 面積表	1/200
M-04	空調設備 平面図：修繕後	1/75
M-05	空調設備 平面図：修繕前	1/75
M-06	動力設備 平面図：修繕後	1/75
M-07	動力設備 平面図：修繕前	1/75
M-08	断面図	1/50
M-09	仮設計画図（参考図）	1/75
	図面裏表紙	1/75

（ A 2 → A 3    7 1 % 縮小版 ）  
西 沢 建 築 設 計 事 務 所

[illegible]

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士    No. 117422    西 沢 雅 彦	令和3年度    迫子地区公民館空調機修繕工事	特記仕様書（１）	A2：N/S	A3：N/S	M— 0 1
			概略工事工程表	A2：N/S	A3：N/S	

工事名称

令和3年度 迫子地区公民館空調機修繕工事

仕様書

工事概要

1. 工事場所

三重県志摩市浜島町迫子

2. 建物概要

国：国有財産法延面積（㎡）

建：建築基準法延面積（㎡）

建番号	名称	構造及び階数	国：延面積	建：延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備考
		RC-2F	40.5	40.5			

3. 工事種目

印の付いたものが対象

建物別及び屋外	公民館	工事種別							
空調設備	○								
換気設備									
排煙設備									
自動制御設備									
衛生器具設備									
給水設備									
排水設備									
給湯設備									
消火設備									
厨房設備									
ガス設備									
浄化槽設備									

4. 指定部分

無

有

対象部分

5. 設備概要

印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。

方式及び種別	設備概要
空調方式 主要熱源機器 自動制御方式	ヒートポンプ方式 冷温水機 パッケージ型空調と機 電気式 電子式 デジタル式
給水方式	水道直結方式 高置タンク方式 圧力タンク方式 ポンプ直送方式 増圧給水直結方式
排水方式	建物内汚水、雑排水（合流式・分流水） ポンプ排水（汚物・雑排水・湧水） 建物外放流先汚水（直放流下水管・既設浄化槽） 雑排水（直放流下水管・既設浄化槽）
消火設備の種別	屋内消火栓設備 スプリンクラー設備 泡消火設備 連結給水設備 連結給水管 不活性ガス消火設備
ガスの種類	都市ガス（種別、発熱量 MJ/m <sup>3</sup> 、供給事業者名） 液化石油ガス（ボンベ・バルクタンク）

工事区分表

図面に特記なき場合は工事区分表による

項	目	機械設備	建築	電気設備
開口部	鉄骨部材のはり貫通部	木閉鎖（補強を含む）		
	鉄骨鉄筋コンクリート部材のはり貫通部	補強		
	RC部材のはり貫通部	スリーブ		
	RC部材の床・壁の貫通部	補強		
	RC部材の床・壁の貫通部	スリーブ		
	床デッキプレートの貫通部	補強		
	開口部の穴埋め補修	切り込み		
	天井・経路開仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共	○	
	基礎等	屋上設置の設備機器の基礎 大型設備機器の基礎 防水層に影響する基礎 上記以外の機器の基礎 架台、アンカーボルト		○
	電気配管配線	外部取付ガラリ 換気扇の取付枠 床下水槽のマンホールふた 湯沸室等流し台 湯沸室等の排気フード 床、天井点検口 防油堤	ダクトチャンパーの接続用フランジを含む 排水トラップ共 ステンレス製天蓋	
改修工事	機器付属の制御盤以降の二次側配管配線（接地共） 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線（接地共） 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線 小便器用節水装置の制御盤以降の二次側の配管配線		○	
	コンクリート壁、床など 天井、壁などのボード類	はつり 荒補修 仕上げ補修 撤去（ボード類のみ） 撤去（下地開口補強を含む） 復旧	○	○

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の標準仕様書等によるものとし、印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）

○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

○ 公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「標準図」という。）

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

（1）章は印の付いたものを適用し、項目及び特記事項は印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は、印の付いたものを適用する。

（3）受注事項は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。

上記事項が発生した場合は、契約書第26条（臨時的措置）の規定による。

章項目

特記事項

1. 発生材の処理等

金属類は引渡しを要するものとする。  
・ 特別管理産業廃棄物（  
・ 横外搬出適切処理  
・ 別途工事  
・ 石綿含有品（  
・ 配管成形部保温材・フレンジ用スケルトン（  
・ 配管・ダクト）  
・ 横外搬出適切処理  
・ 別途工事  
・ 再生資源化を図るもの（  
・ 塩化ビニル樹脂管  
・ 臭化リチウム）  
・ 横外搬出適切処理  
・ 別途工事  
○ 上記以外のものの処理は横外搬出適切処理とする。  
本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律法令」（平成12年11月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。  
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。  
また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等にした費用を書面に監督職員に報告する。  
（書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものとする）

2. 特定建設資材の再資源化等

（1）分別解体の方法

工程	作業内容	分別解体の方法
新築	建築設備工事	
増築	有	手作業
修繕	無	手作業・機械作業併用
模様替		

（2）特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所在地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。  
・ 構内敷きならし  
・ 本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、工期等に要が有った場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難い場合には、監督職員と協議しなければならない。  
構外搬出（片道運搬距離 約 km）  
D10区間（有 無）  
（1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」に定める特定調達品目分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。  
（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。  
1 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、シリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。  
2 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少い材料を使用する。  
3 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。  
4 1の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。  
（3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の1又は2に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3又は4に該当する材料を指す。  
1 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料以外の材料  
2 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料  
3 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料  
4 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料  
（4）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。  
（5）別表1に機材等名が記載された製造業者等は次の1から6すべての事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承認を受ける。ただし、次の1から6すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。  
1 品質及び性能に関する試験データを整備していること。  
2 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。  
3 安定的な供給が可能であること。  
4 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
5 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
6 販売、保守等の営業体制を整えていること。

3. 建設発生土の処理方法

建設発生土の処理方法

4. 現場への配慮

現場への配慮

5. 材料の品質等

材料の品質等

6. 現場その他

現場その他

7. 埋戻し及び運土

埋戻し及び運土

章項目

特記事項

1. 施工図等

1. 施工図等

2. 機材の承認

機材の承認

3. 品質管理

品質管理

4. 電気設備

電気設備

5. 電気設備

電気設備

6. 電気設備

電気設備

7. 電気設備

電気設備

8. 電気設備

電気設備

9. 電気設備

電気設備

10. 電気設備

電気設備

11. 電気設備

電気設備

12. 電気設備

電気設備

13. 電気設備

電気設備

14. 電気設備

電気設備

15. 電気設備

電気設備

16. 電気設備

電気設備

17. 電気設備

電気設備

18. 電気設備

電気設備

19. 電気設備

電気設備

20. 電気設備

電気設備

21. 電気設備

電気設備

22. 電気設備

電気設備

23. 電気設備

電気設備

24. 電気設備

電気設備

25. 電気設備

電気設備

26. 電気設備

電気設備

27. 電気設備

電気設備

28. 電気設備

電気設備

29. 電気設備

電気設備

30. 電気設備

電気設備

31. 電気設備

電気設備

32. 電気設備

電気設備

33. 電気設備

電気設備

34. 電気設備

電気設備

35. 電気設備

電気設備

36. 電気設備

電気設備

37. 電気設備

電気設備

38. 電気設備

電気設備

39. 電気設備

電気設備

40. 電気設備

電気設備

41. 電気設備

電気設備

42. 電気設備

電気設備

43. 電気設備

電気設備

44. 電気設備

電気設備

45. 電気設備

電気設備

46. 電気設備

電気設備

47. 電気設備

電気設備

48. 電気設備

電気設備

49. 電気設備

電気設備

50. 電気設備

電気設備

51. 電気設備

電気設備

52. 電気設備

電気設備

53. 電気設備

電気設備

54. 電気設備

電気設備

55. 電気設備

電気設備

56. 電気設備

電気設備

57. 電気設備

電気設備

58. 電気設備

電気設備

59. 電気設備

電気設備

60. 電気設備

電気設備

61. 電気設備

電気設備

62. 電気設備

電気設備

63. 電気設備

電気設備

64. 電気設備

電気設備

65. 電気設備

電気設備

66. 電気設備

電気設備

67. 電気設備

電気設備

68. 電気設備

電気設備

69. 電気設備

電気設備

70. 電気設備

電気設備

71. 電気設備

電気設備

72. 電気設備

電気設備

73. 電気設備

電気設備

74. 電気設備

電気設備

75. 電気設備

電気設備

76. 電気設備

電気設備

77. 電気設備

電気設備

78. 電気設備

電気設備

79. 電気設備

電気設備

80. 電気設備

電気設備

81. 電気設備

電気設備

82. 電気設備

電気設備

83. 電気設備

電気設備

84. 電気設備

電気設備

85. 電気設備

電気設備

86. 電気設備

電気設備

87. 電気設備

電気設備

88. 電気設備

電気設備

89. 電気設備

電気設備

90. 電気設備

電気設備

91. 電気設備

電気設備

92. 電気設備

電気設備

93. 電気設備

電気設備

94. 電気設備

電気設備

95. 電気設備

電気設備

96. 電気設備

電気設備

97. 電気設備

電気設備

98. 電気設備

電気設備

99. 電気設備

電気設備

100. 電気設備

電気設備

1. 設計温度

設計温度

2. ばいじん量測定口

ばいじん量測定口

3. ダクト

ダクト

4. チャンパー

チャンパー

5. ダンパー

ダンパー

6. 風量測定口

風量測定口

7. 電気材料

電気材料

8. 電気材料

電気材料

9. 温度計・圧力計

温度計・圧力計

10. 鋼管流量計

鋼管流量計

11. 油面制御装置

油面制御装置

12. 保温及び清音内貼

保温及び清音内貼

1. ダクト

ダクト

2. 風量測定口

風量測定口

3. ダンパー

ダンパー

4. シールする排気ダクトの系統

シールする排気ダクトの系統

5. チャンパー

チャンパー

6. 保温

保温

7. 電気材料

電気材料

8. 電気材料

電気材料

9. 電気材料

電気材料

10. 電気材料

電気材料

11. 電気材料

電気材料

12. 電気材料

電気材料

13. 電気材料

電気材料

14. 電気材料

電気材料

15. 電気材料

電気材料

16. 電気材料

電気材料

17. 電気材料

電気材料

18. 電気材料

電気材料

19. 電気材料

電気材料

20. 電気材料

電気材料

21. 電気材料

電気材料

22. 電気材料

電気材料

23. 電気材料

電気材料

24. 電気材料

電気材料

25. 電気材料

電気材料

26. 電気材料

電気材料

27. 電気材料

電気材料

28. 電気材料

電気材料

29. 電気材料

電気材料

30. 電気材料

電気材料

31. 電気材料

電気材料

32. 電気材料

電気材料

33. 電気材料

電気材料

34. 電気材料

電気材料

35. 電気材料

電気材料

36. 電気材料

電気材料

37. 電気材料

電気材料

38. 電気材料

電気材料

39. 電気材料

電気材料

40. 電気材料

電気材料

41. 電気材料

電気材料

42. 電気材料

電気材料

43. 電気材料

電気材料

44. 電気材料

電気材料

45. 電気材料

電気材料

46. 電気材料

電気材料

47. 電気材料

電気材料

48. 電気材料

電気材料

49. 電気材料

電気材料

50. 電気材料

電気材料

51. 電気材料

電気材料

52. 電気材料

電気材料

53. 電気材料

電気材料

54. 電気材料

電気材料

55. 電気材料

電気材料

56. 電気材料

電気材料

57. 電気材料

電気材料

58. 電気材料

電気材料

59. 電気材料

電気材料

60. 電気材料

電気材料

61. 電気材料

電気材料

62. 電気材料

電気材料

63. 電気材料

電気材料

64. 電気材料

電気材料

65. 電気材料

電気材料

66. 電気材料

電気材料

67. 電気材料

電気材料

68. 電気材料

電気材料

69. 電気材料

電気材料

70. 電気材料

電気材料

71. 電気材料

電気材料

72. 電気材料

電気材料

73. 電気材料

電気材料

74. 電気材料

電気材料

75. 電気材料

電気材料

76. 電気材料

電気材料

77. 電気材料

電気材料

78. 電気材料

電気材料

79. 電気材料

電気材料

80. 電気材料

電気材料

81. 電気材料

電気材料

82. 電気材料

電気材料

83. 電気材料

電気材料

84. 電気材料

電気材料

85. 電気材料

電気材料

86. 電気材料

電気材料

87. 電気材料

電気材料

88. 電気材料

電気材料

89. 電気材料

電気材料

90. 電気材料

電気材料

91. 電気材料

電気材料

92. 電気材料

電気材料

93. 電気材料

電気材料

94. 電気材料

電気材料

95. 電気材料

電気材料

96. 電気材料

電気材料

97. 電気材料

電気材料

98. 電気材料

電気材料

99. 電気材料

電気材料

100. 電気材料

電気材料

【特記事項】

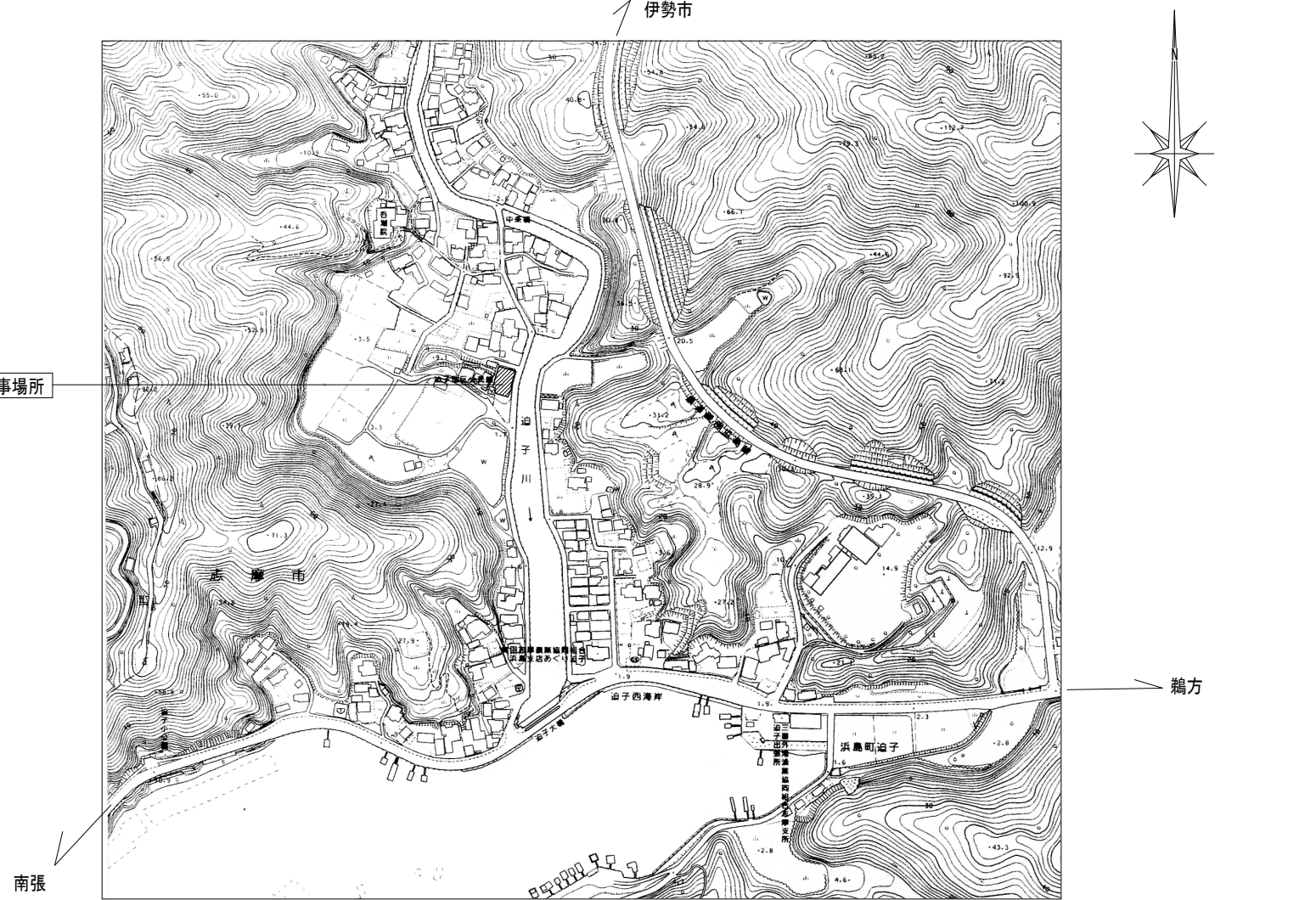
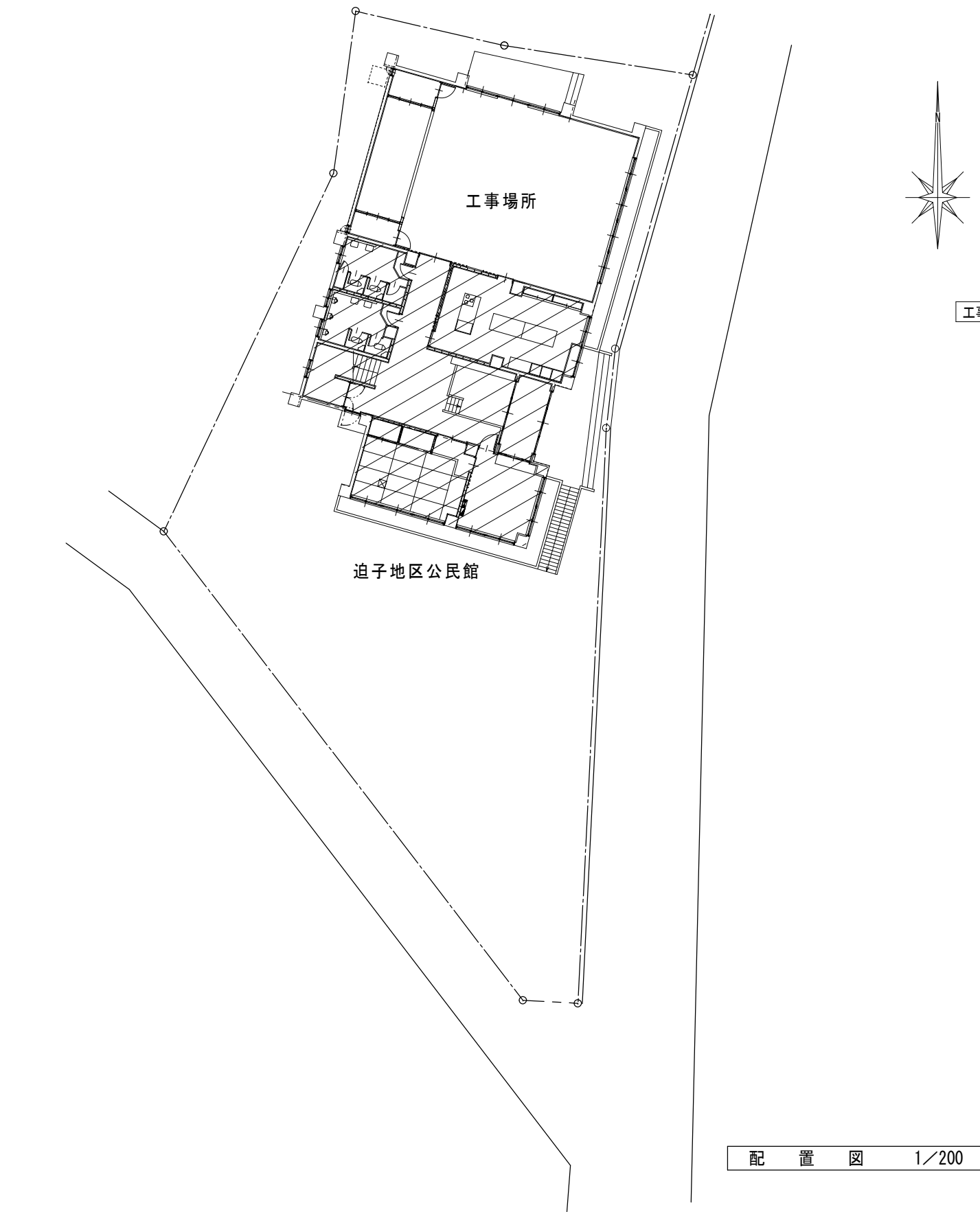
西 沢 建 築 設 計 事 務 所

一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

令和3年度 迫子地区公民館空調機修繕工事

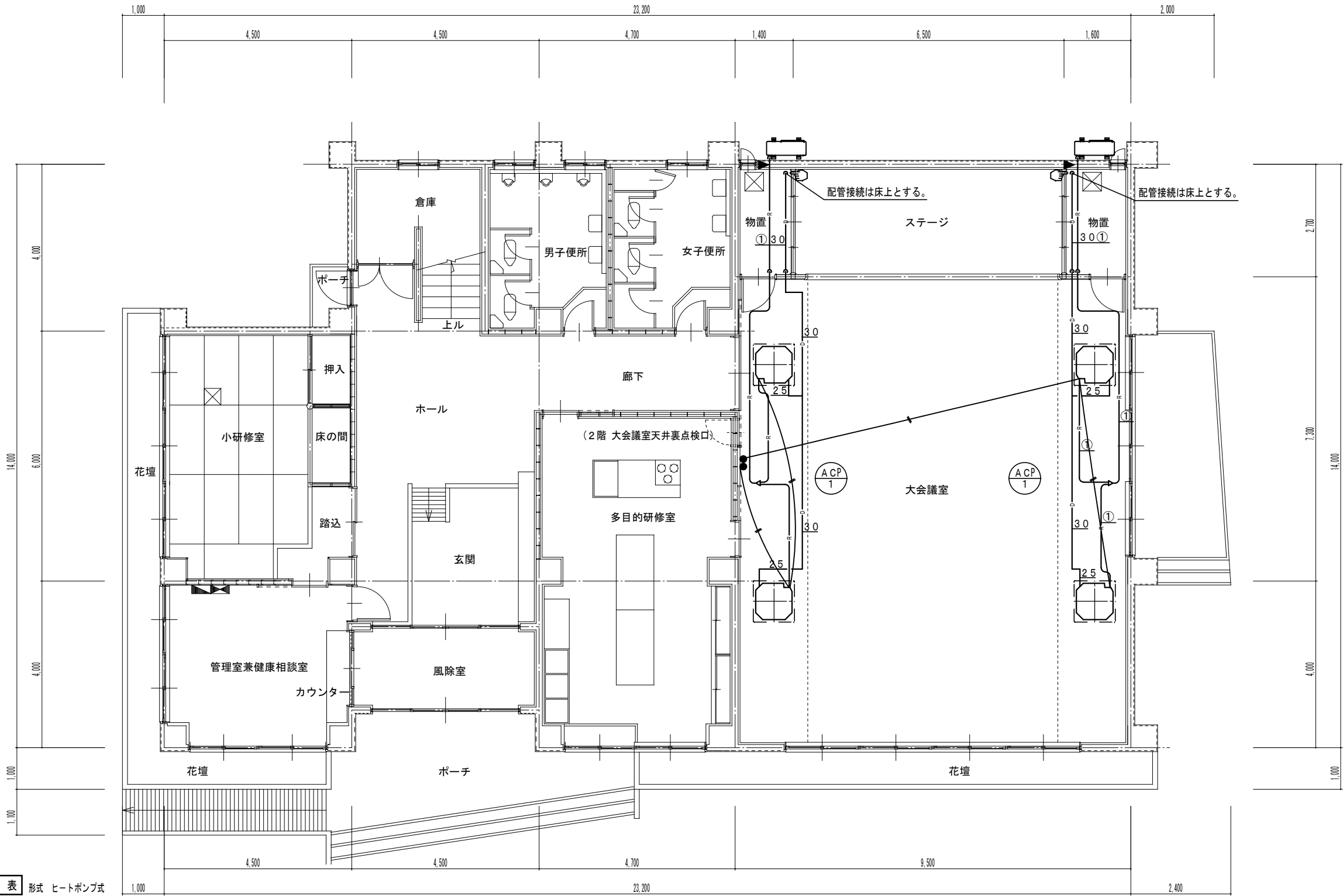
特記仕様書（2）

A2：N/S A3：N/S M—02



付 近 見 取 図

( 地名地番 )      三重県志摩市浜島町迫子		
面   積   表		( m <sup>2</sup> )
敷 地 面 積		876.87
建 築 面 積		315.00
床 面 積	1階	302.75
	2階	119.00
延 床 面 積		421.75



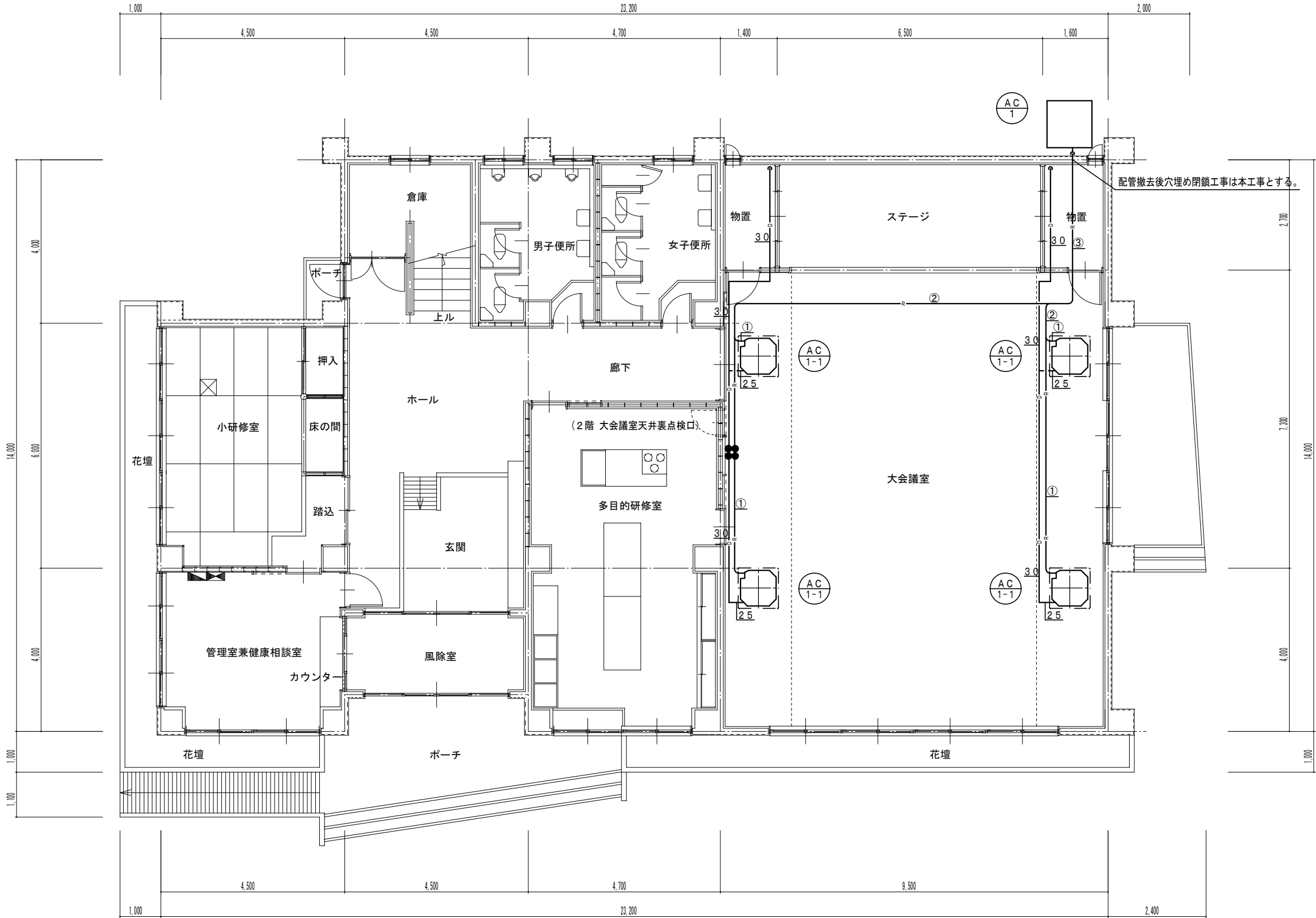
空調機器表 形式 ヒートポンプ式

記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様		電 気 容 量					台数	設 置 場 所	
				相 電 圧		圧縮機		送風機			
				(φ)	(V)	(kW)	内 (kW)	外 (kW)			
ACP- 1	ヒートポンプ式	形 式	天井カセット4方向吹出し：同時ツイン	3	200	4. 06	0. 06 X 2	0. 10	2	大会議室	
	エアコン	冷房能力	14. 0 (3. 1～16. 0) kW							参考品番：	
		暖房能力	14. 0 (2. 6～18. 0) kW							RUEB16031MZG	
		冷房消費電力	4. 68 kW								
		暖房消費電力	3. 40 kW							室外機重量：78 Kg	
		低温暖房消費電力	5. 32 kW							室内機重量：26 Kg X 2	
		付 属 品	化粧パネル、標準フィルター、ワイドパネル ワイヤードリモコンスイッチ、他付属品共								
			室外機：重塩害仕様、転倒防止金具								
		基 礎	防振ゴム・市販コンクリート架台								
注 記	運転特性、能力はJ I S条件による。 電源容量値は参考とする。					リモコン配線共本工事とする。					
	空調機トップランナー基準改定仕様とする。					機器は同等品以上とする。					
	冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。					機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。					
	室外機－室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。					但し該当しない機器については製造業者標準仕様による。					

(参考)			
配管サイズ	ガ ス 管	液 管	連絡配線
①	15. 9φ	9. 5φ	EM-CEE2°-3C
※連絡配線は冷媒共巻きとする			
●	リモコンスイッチ		
— / —	EM-CEE-S1. 25°-2C : 隠蔽		

改修工事凡例	
—	今回施工工事を示す
- - - -	既設を示す
☞	既設配管接続箇所を示す
◀ ☒	コア抜き貫通箇所を示す
—	既設貫通箇所を示す
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	

平面図 1/75



(参考)			
配管サイズ	ガス 管	液 管	連絡配線
①	15. 9 φ	9. 5 φ	CVV1. 25'-2C
②	19. 1 φ	9. 5 φ	CVV1. 25'-2C
③	28. 6 φ	15. 9 φ	CVV1. 25'-2C
* 連絡配線は冷媒共巻きとする			
●	空調リモコンスイッチ		

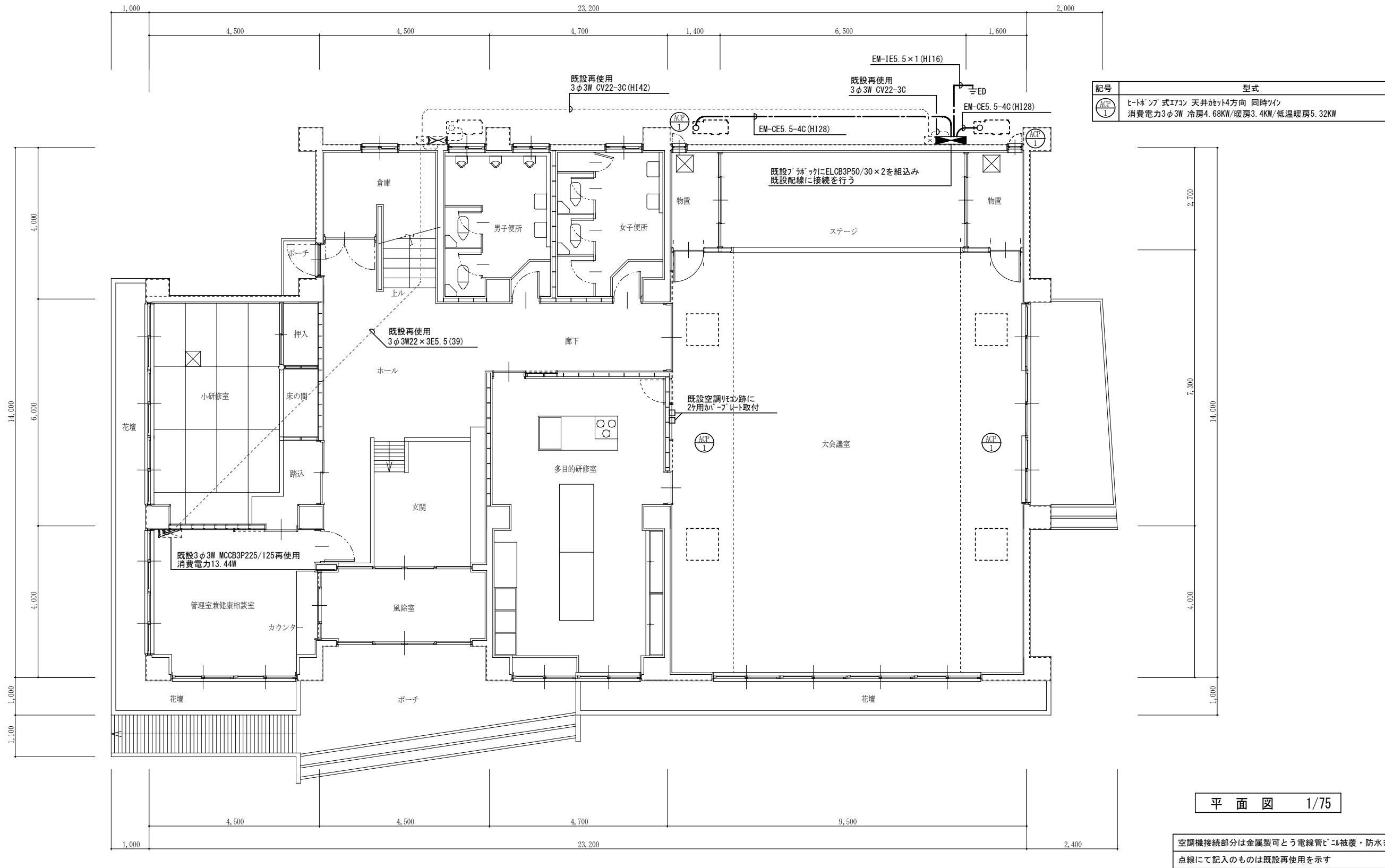
撤去空調機器表

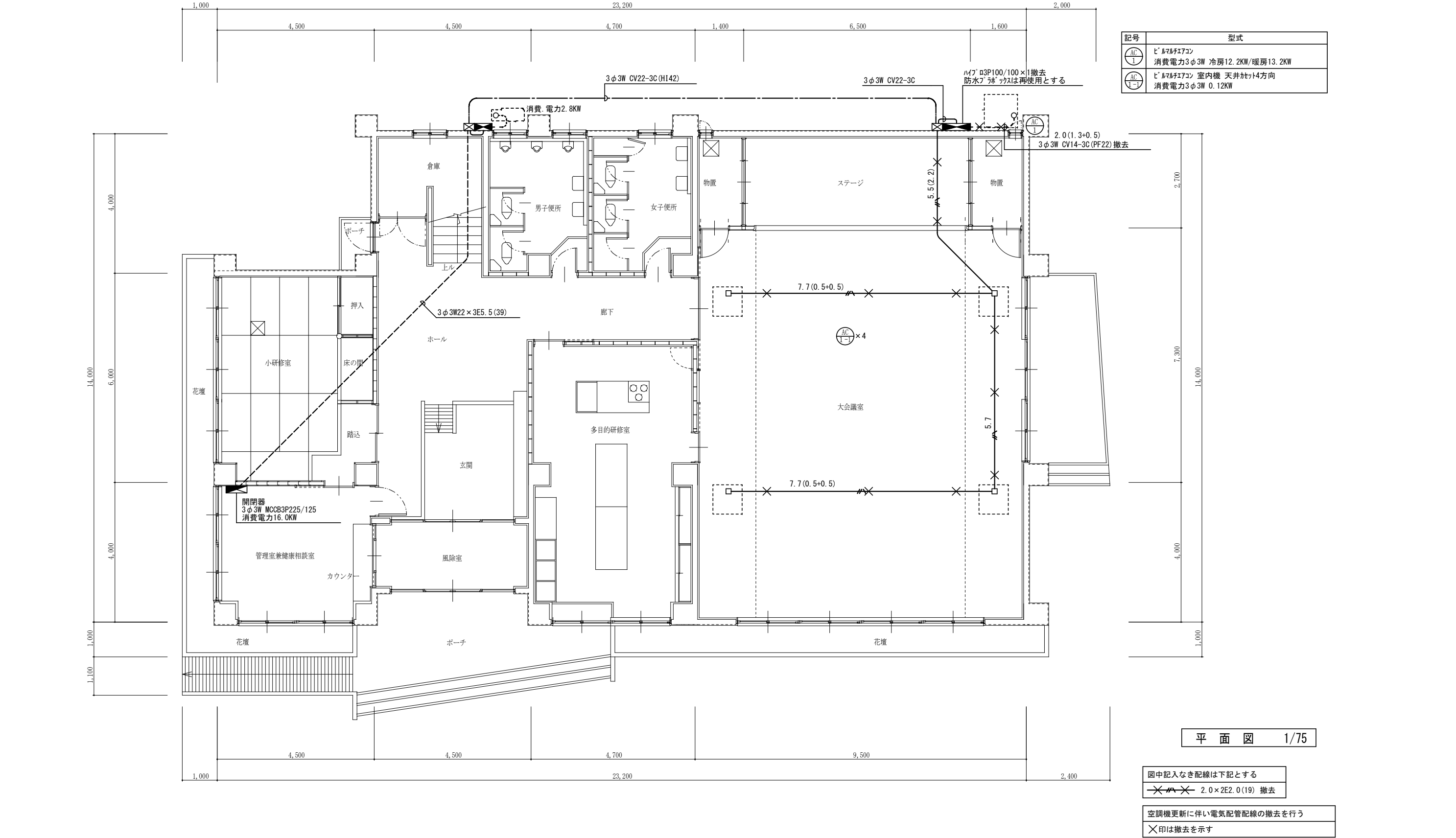
記 号	形 式		台数
AC-1	ビルマルチエアコン：室外機	冷房能力：25000kcal/h, 暖房能力：29000kcal/h, 圧縮：3.75X2kw 付属品共 参考品番：2505HTM（東芝） 重量：345kg, 1100X1150X1380H 冷媒ガス：R22（20kg）	1
AC1-1	ビルマルチエアコン：室内機 天井カセット4方向吹出	冷房能力：6300kcal/h, 暖房能力：7250kcal/h 付属品共 参考品番：AM-632H（東芝） 重量：29+8kg, 740X840X300H（840X1000X28H）	4
	リモコンスイッチ		4

平面図 1/75

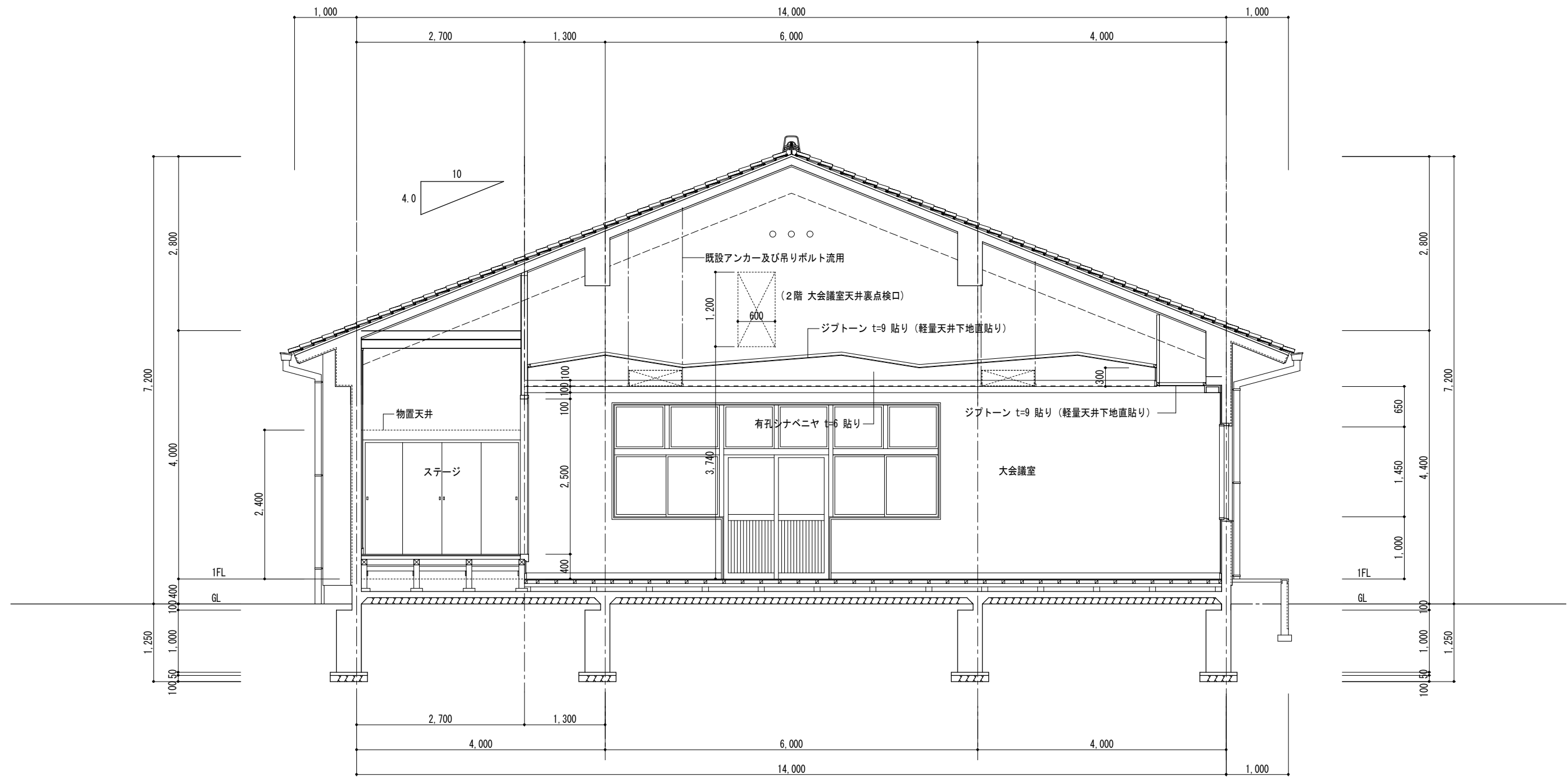
撤去工事凡例

——	今回撤去工事を示す。
---	既設を示す。
<3 ㊦ ㊧	既設貫通箇所を示す
撤去配管リスト	
冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管	
ドレン管：硬質塩化ビニル管	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	





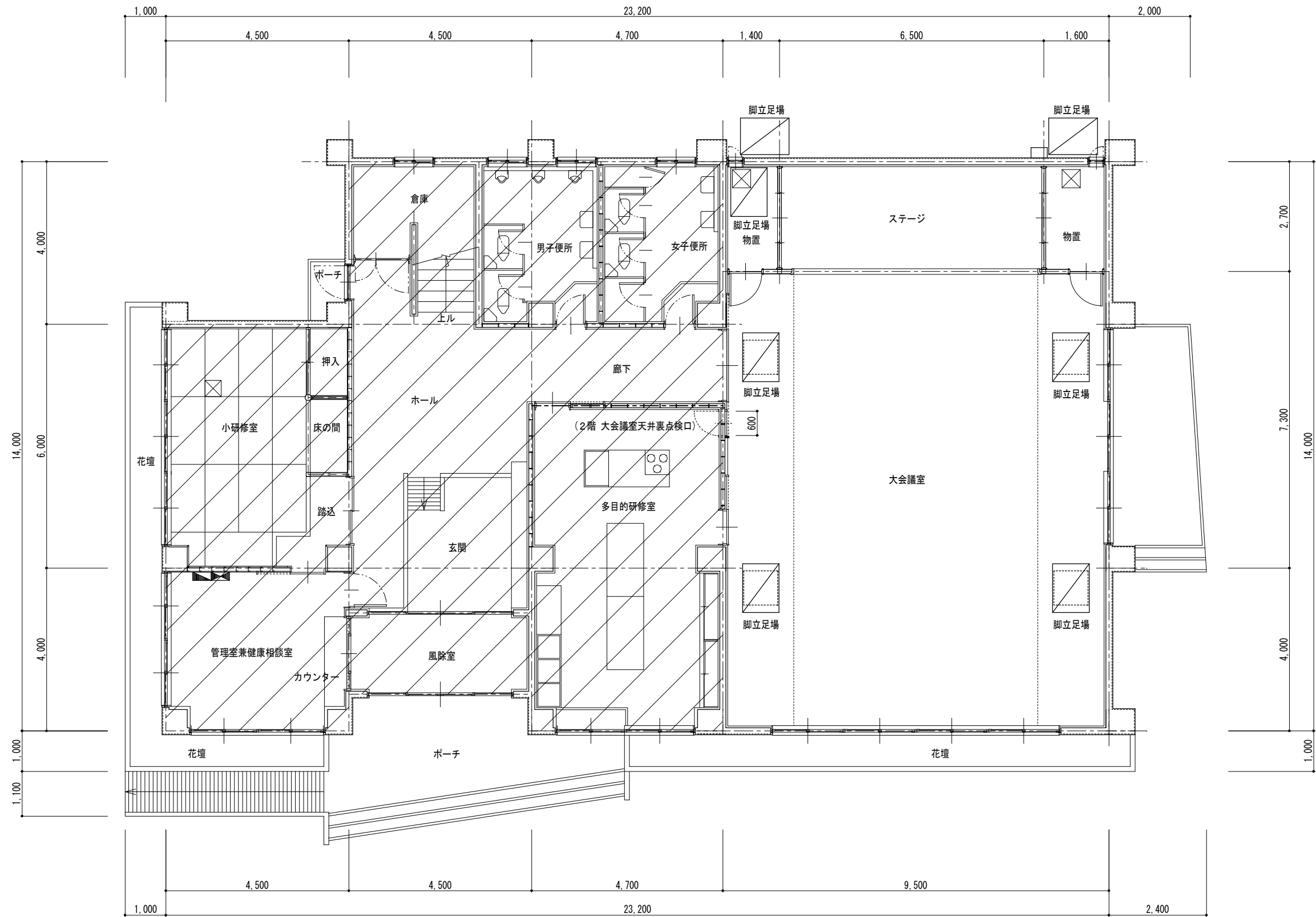




断面図 1/50

※ 既設空調機のアンカー及び吊りボルトの流用を可とするが、アンカーの引張強度 [400N 以上] を確認すること。

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所	一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和3年度 迫子地区公民館空調機修繕工事	断面図	A2:1/50 A3:1/70	M— 0 8



平面図 1/75

⊠ ——— 天井点検口（アルミ枠）450×450 既設天井ボード切込み、軽量天井開口補強共

▧ ——— 脚立足場（必要に応じて移動して使用する）

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和3年度 迫子地区公民館空調機修繕工事		仮設計画図（参考図）		M— 0 9
					平 面 図	A2:1/75 A3:1/106	

